

昭島市公民館の
公式 twitter ↓



あきしま 公民館だより

—であい・ふれあい・学びあい—



No.204

編集・発行 昭島市公民館

昭島市つつじが丘3-7-7

042-544-1407・546-9656 (FAX) (火曜日休館)

2021. 6. 1号

(偶数月1日発行)



はじめまして
公民館長 立川 豊

4月1日付の人事異動により、
(市民会館・公民館長に就任
いたしました立川と申します。よ
ろしくお願いいたします。

公民館は、出会い・ふれあい・
学びの場として、市民相互の交流
を図っていただくための学習・
文化施設であり、地域コミュニテ
ィの拠点施設です。

現在はコロナウイルスの影響
で、様々な活動が制限されてお
りますが、学びや交流を通じて、人
と人とのつながりを深め、皆様の
更なる学習の場・文化活動の場
となるよう、また各種事業の実施
にあたっては安全に利用してい
ただくための施設管理に努めて
まいりますので、今後ともよろし
くお願い申し上げます。

健康気功(導引養生功) 学び講座

心と身体の免疫力(抵抗力)を高める健康管理のコツを学びます。

日 時	内 容	講 師
7月1日(木)	「導引養生功の特徴と捉え方」呼吸、経絡について	ちよう ぎよくしょう 張 玉松 老師 (導引養生功日本総本部会長)
7月8日(木)	「導引養生功の功法(動き)の特徴」引体令柔十三式(ストレッチ)、五臓元気功(初級)	
7月22日(木)	「五臓六腑の改善と免疫力を高める」頤身九段錦	山田 友子さん (導引養生功日本総本部常任理事)
7月29日(木)	「生活習慣病の予防と改善」三消九治功	
8月5日(木)	「古導引功法」五臓六腑を改善する八段錦と筋肉、筋、関節を強化する易筋経	

◇時 間 午後1時30分～3時30分

◇会 場 公民館 小ホール

◇対 象 市内在住・在勤・在学で60歳以下の方

◇企画・運営 昭島導引養生功研究会

◇定 員 30名(申込順)

◇参加費 1,100円(資料代300円含む)

◇申 込 6月3日(木)から公民館へ

もくじ

- P2～ 公民館利用者のアンケート結果/市民文化作品展を開催しました/公民館からのお知らせ
- P3～ ひととき/公民館運営審議会活動報告/展示ケース「己書」/公民館職員の異動がありました
- P4～ 公民館利用申請受付開始日(抽選日)等のご案内/公民館小ホールの特例的利用制度について/団体紹介コーナーの協力団体を募集

市民講座

JAXA 子ども科学教室

傘袋ロケットの製作や、宇宙のお話もあります。
夢の扉を開きに参加してみませんか？

◆日 時 8月14日(土)

午前10時～正午

◆会 場 公民館 小ホール

◆対 象 小学3年生～6年生(保護者の見学可)

◆講 師 菅 雅人さん(独立行政法人宇宙航空研究開発機構
JAXA コズミックカレッジ講師)

◆定 員 20名(多数抽選)

◆参加費 無料

◆申 込 7月17日(土)から7月31日(土)までに公民館へ



今後の新型コロナウイルス感染状況によって、対応が変わる場合があります。

公民館利用者のアンケート結果

今年度も公民館利用者連絡会と公民館の共催で公民館利用者懇談会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染が拡大しているため、中止としました。利用者の方々からいただいたアンケートにお答えいたします。

38 団体から次のような要望が出されました。

備品関係

Q. ピアノの消毒用のクリーナーを常備してほしい。

A. ピアノについては高額備品であり、精密な楽器でもありますので、管理係の方で消毒を行います。

Q. 高齢者の立ち座りが大変なので、和室でパイプ椅子を使用するようにしてほしい。

A. 畳劣化の原因となります。押入れに座椅子がありますのでご利用ください。

利用関係

Q. 利用する前の時間帯に利用団体がない場合、利用開始時間の15分前には入室できるようにしてほしい。

A. 前の時間帯に利用団体がなく、早めに入室希望であれば、当日利用申請にて前の区分を確保しご利用ください。

Q. 施設使用料の低額化。現在1300円のところを300円にしてほしい。

A. 登録団体の使用料は減免されています。

Q. 換気のために各部屋に、換気扇や空気清浄機を設置してほしい。

A. 館内は随時空調が効いています。適宜窓を開けて対応をお願いします。

Q. コロナ禍でも対策しながらどうにか活動ができるように、施設を開けてほしい。早く旧の定員制に戻ってほしい。

A. 国及び東京都の時短要請に基づき閉館時間を設定しています。今後、新型コロナウイルス感染者の減少によつては、見直していきます。

講座関係

Q. 自然や環境を学ぶ連続した講座・古文書を読み解く初級入門などの講座を企画してほしい。

A. 講座については時事問題や市民のニーズ等を考慮し企画しています。多くの要望があれば今後検討していきます。自主

市民講座や講師派遣事業といった、団体が企画運営する講座も開設していますので、ご利用ください。

予約関係

Q. 予約システムで、IDとパスワードを1度入力したらそれ以降は入力しなくても申込み画面に推移するようにしてほしい。

A. ログアウト忘れ等による第三者利用を防ぐためにもセキュリティを重視し毎回入力していただいています。ご不便をおかけしますがご理解ください。

Q. 公民館小ホール、システム機より申込み、当たると大変助かります。

A. 小ホールの利用率は、ほぼ100%となっており、ご希望の日程で必ず確保することは難しいと思います。午後2の区分が空いていることがありますので、ご検討ください。

この他にも、要望や意見等ありましたが、公民館では、皆様が活動しやすいように改善に努めてまいります。

掲載できなかった要望等は、各部屋に掲示しますので、ご覧ください。

公民館からのお知らせ



保育室の砂場で遊ぶおもちゃを新しく購入しました。

子どもたちに人気がある「アンパンマン」・「スイーツバケツセット」等です。たくさん遊んでくれるといいですね。

市民文化作品展を開催しました



3月13日(土)・14日(日) 陶芸展、3月27日(土)・28日(日) 美術展を開催しました。たくさんの方にご来館いただきありがとうございました。

公民館前のケヤキの葉が新緑から濃い緑となり、雨に濡れた幹が一層輝きを増す六月に入り、相田みつをさんの詩「生きていて楽しいと思うことの一つそれは人間が人間と逢って人間について話をする時です」を思い出しました。

「つどい・学び・つながる地域の拠点」である公民館。「おはようございます」「じゃあ、またね」と言

える事が、いかに幸せであったかを痛感したこの一年半、世界中が厳しく辛い状況ではありましたが、楽しいふれあいや、学びの時間もたくさんありました。

「障がいのある

青年の交流講座」で

は、十月にインドアペタンクを行い、久しぶりに仲間と再会し、チームの枠を超え、お互いを認め合い、失敗しても「ドンマイ」の声が響き渡っていました。十二月のクリスマス会では、懐かしい十六ミリフィルムで映画鑑賞が行われ、素朴な中にも心が温かくなるひと時でした。二月には「人権から学ぶ多文化共生社会」の地域課題講座に参加しました。石川県の先生とのリモ



ートでの講義を経験したり、マレーシアのラマダン月（断食）を日本の小学校でどう捉えるかグループ討議をしたり、タイの家庭料理を在日タイ人の方から教わったりする中で、多様な文化や価値観をもつ人々との共生について考えるきっかけとなり、更なる学びができたらと思っています。『民話の語り・グループ梅の実』も三月から新たなスタートを切りました。

梅の実がなる頃に開催してきた発表会は未定ですが、仲間が顔を合わせ、切磋琢磨しながらお互いを高め、「楽しもう！」を合言葉にしていくな事をみんなで確かめ合うことができました。青々とした梅の実が少しずつ熟していくように地道な活動を継続していきたいと思っています。

春夏秋冬、私たちを優しく見守り、大地にしっかりと根を張るケヤキに負けないように、人と人をつなぐ「根っこ」を強く、太くして、明るいつ未来を創っていききたいです。

公民館運営審議会委員

三木 千栄美

公民館運営審議会 活動報告

公民館運営審議会は公民館事業の調査・審議することを目的に、毎月1回第2金曜日の午後7時より開催しています。

◆3月12日（金）

3月は、緊急事態宣言が延長されたことで、開催時間を早め午後5時30分から開催しました。都公連委員会担当委員より、第57回東京都公民館研究大会における記録の配信についての報告と4月に開催される都公連総会について説明がありました。事務局からは終了した事業報告と、始まる事業についての説明がありました。また、小ホール特例の利用について報告がありました。

◆4月9日（金）

事務局より3月に終了した「春休み親子教室」について報告がありました。また、これから始まる事業として、市民文化祭第10期市民大学、自主市民講座について説明がありました。

最後に、「コロナ禍の中で学ぶ権利を考える」をテーマに学習権について副会長より説明をいただきました。

展示ケース

令和2年度シニア講座「書流基礎講座」で参加者の皆さんが制作した作品を、4月22日（木）～5月22日（土）まで1階ガラスケースで展示しました。

己書は、年齢や字の上手い下手に関わらず、誰でも作品に挑戦することが出来ます。全4回の講座でしたが、とても素敵な作品ができました。



公民館職員の異動(4月1日付)がありました

<転入>

立川 豊 公民館長（保健福祉部障害福祉課から）
吉村 美己（都市整備部交通対策課から）
流石 壮（総務部職員課から）

<転出>

吉村 久実 前公民館長（生涯学習部スポーツ振興課へ）
渡辺 俊一（保健福祉部介護福祉課へ）

<退職>

高橋 信彦



公民館利用申請受付開始日（抽選日）等のご案内

公民館登録団体の申込み

施設区分	利用月	受付期間	抽選日	確定期間	調整会議	随時申込み
小ホール	令和3年 11月分	6/1～10	6/11	6/11～20	6/26	予約システムでの申込み、変更、取消しは、利用日の7日前まで。その後は窓口で。
	令和3年 12月分	7/1～10	7/11	7/11～20	7/24	
小ホール以外	令和3年 9月分	6/1～10	6/11	6/11～20	6/26	
	令和3年 10月分	7/1～10	7/11	7/11～20	7/24	

※公民館未登録団体の申込みについては、公民館までお問い合わせください。

抽選申込みの注意

公民館登録団体は昭島市公共施設予約システムで抽選申込みができます。

★当選した団体は上の確定期間内にシステムで確定をしてください。

（確定しないと予約が無効になりますのでご注意ください）

★落選した団体は、随時申込みが始まる前に、「調整会議」で再度空いている会議室等の申込みができます。6月、7月の調整会議は公民館第1会議室で午前10時から行います。

※登録団体以外の団体の予約方法についてはお問い合わせください。

公民館利用区分	
午 前	午前9時～正午
午後1	午後1時～4時
午後2	午後4時～7時
夜 間	午後7時～10時

展示室・陶芸窯・暗室・保育室の施設予約は、公民館登録団体が使用する場合、利用月の3ヶ月前の調整会議で申込みができます。調整会議後は公民館の窓口で利用日の2ヶ月前の月の初日から申込みができます。なお、保育室と暗室は会議室等が予約されている場合に限り（単独での使用はできません）。

- ★ 空き状況は、団体登録の有無にかかわらず「昭島市公共施設予約システム」で確認できます（公民館、市立会館をはじめ市の施設に備え付けの端末機のほか、昭島市ホームページ「施設予約」からもご覧いただけます）。
- ★ 「昭島市公共施設予約システム」で予約を行う場合は、「予約申込／予約一覧」画面で利用目的・利用人数・催し物名を入力してください（小ホールで発表会等を行う場合は、舞台担当者との打ち合わせが必要になりますので事前に連絡をお願いします）。

公民館小ホールの特例的利用制度について

公民館登録団体の小ホールの利用申込みは5ヶ月前からとなっていますが、次のような場合は6ヶ月前から申請することができます。

- ◆公民館登録団体が日頃の活動の成果を発表する事業（発表会）
 - ◆利用可能団体数 1ヶ月1団体 ◆利用可能区分数 午前から夜間のうち3区分以内
 - ◆利用回数 1団体年1回
 - ◆申請日 利用希望日の6ヶ月前の月の1日から7日まで（休館日を除く）の午前9時から午後5時の間
- ☆同月開催の公民館運営審議会で決定します。詳しくは、公民館までお問い合わせください。

団体紹介コーナーの協力団体を募集

公民館だよりは偶数月年6回発行しています。皆さんの活動の様子などを掲載する公民館登録団体紹介のコーナーは、平成30年4月号から開始し、今まで8つの団体を紹介しています。

日頃の皆さんの活動の様子などを公民館だよりに掲載してみませんか。活動の際、職員がインタビューをさせていただきます。

掲載を希望する団体は名称、連絡先（氏名・電話番号）を公民館までお知らせください。担当より後日連絡いたします。

※紙面の都合により、掲載されない月もあります。